



KOA株式会社は創立80周年を迎えました。



これからも 「ふるさと」と共に

取締役会長 向山 孝一



「歴史を忘れた民族や国に未来は無い」とはよく言われる戒めの言葉です。

この事は企業にも当てはまる真実だと僕も考えます。

「お蚕様」の養蚕農家と製糸工場で成り立っていた信州伊那谷を襲った昭和恐慌。

日本の近代化が始まったといわれる明治維新から、凡そ六十年後のとても大きな出来事でした。

世界は、日本も含めて大不況に突入した「世界恐慌」に直面したのです。

多くの農家農民や地域社会を支えてきた、唯一のふるさとの産業であった製糸業の衰退が始まったのです。

長男を残して、実に多くの若者がふるさとを離れ大都市、都会へと職を求めて出て行かざるを得なかったのです。

また、家族全員で「満蒙開拓移民」として中国東北部へと渡った人達も多くいたのです。

「生まれ育ったふるさに、製糸産業以外に家族全員を養っていける産業、働き口が他になかった」からなのです。

そんな疲弊していく農村の養蚕農家に生まれ育った青年が苦学力行して、

二十六歳にして創業したのが当社の始まりです。

ふるさと伊那谷に初めて電子部品事業を興したのです。

生活や社会・経済の基盤である農業・農村・農民の暮らしを守り、豊かにするために、

家族の生計が工業によって成り立つ地域社会、伊那谷を創ろうと始めたのが当社の創業者の熱き想いでしょう。

「農工一体」の誕生でした。

それから八十年の歳月が流れました。

電子部品産業の一企業として、世界のマーケットで継続して経済活動・経営を行ってきています。

生まれ育った伊那谷や、それぞれの拠点の地域社会で、その社会の一員として相応しい活動を続けてきています。

惑星地球の生態系の一員としても、恥ずかしくないよう振る舞っていこうと活動中です。

一緒に働く仲間・家族の健康を願って、少々おせっかいをやき乍らも地道な活動も続けています。

これからもKOAは「ふるさと」と共に歩み続けます。

『KOAらしさ報告書』について

この『KOAらしさ報告書』は、私たちのCSRに関する取組みをお伝えするとともに、その背景にある「KOAらしさ」について、皆さまにも感じていただけることを願って作成しています。

世界が新型コロナウイルスの猛威に直面する中、これまで当たり前だった暮らしの大切さに気づかされました。新型コロナによって、社会は大きな変化を遂げるといわれています。この変化に直面し、対応していく中で、あらためてKOAの存在価値が問い直されてくるのではないのでしょうか。大切なものを守り続けるKOAらしさ、5つの主体の皆さまとのお付き合いの中で学ばせていただくことによって創られてきた新しいKOAらしさ、これらをしっかりと見据えながら、新たな時代に向けてKOAの企業価値を高めてゆきたいと考えています。

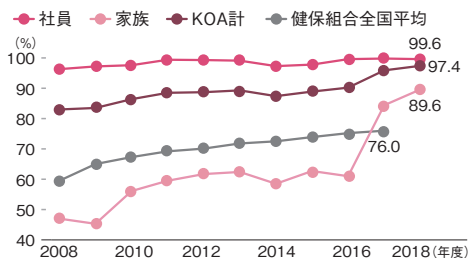
競争力、稼ぐ力の源泉は、人にあります。設備など形のあるノウハウもありますが、本当の強みは、社員一人ひとりの中にある学びと経験の蓄積です。

KOAは、創業者の遺訓として人員整理を戒め、「どこよりも明るく楽しい職場をつくろう」を社是とし、社員と社員を支えるご家族の皆様が、KOAの社員でよかったと思っただけのよう、健康で安心して働ける職場づくり、能力を一層高めるための人事・教育制度の整備などに努めています。人への投資は、競争力向上の鍵です。

社員と家族の安心のために

社員と家族が健康で安心して働くことができる職場づくりを進めるため、KOA健康保険組合と一丸となって、多方面から働きかけながら健康づくりを推進しています。

■ 特定健診受診率の推移



2018年度の活動実績評価 全国1位

厚労省の実施する全国の健保組合・共済組合に対する保険者機能総合評価(特定健診受診率、特定保健指導実施率、各活動指標)で高い評価を受けています。

message

生活習慣病で現役社員さんが亡くなるのを防ごうと「愛のおせんしょ大作戦」と名付けて始まった健康づくり活動は、「健診受けて」や「精密検査行った?」といった声掛けが中心の活動です。健康というプライベートな問題に、仲間同士で愛をこめてちょっとだけ余計なお世話をすること(“おせんしょ”)が活動の秘訣です。

この愛ある“おせんしょ”に各事業所の担当者の皆さんと一緒に取り組むことで、ご家族も含めた健康づくりができてきました。国の保険者機能総合評価指標によるKOA健保の評価点が全国の健保組合・共済組合の中で1位となったことは、社員・ご家族の皆さんの熱心な取り組みへの評価と、とても励みに感じております。

KOA健康保険組合
事務長
桐山優子



「愛のおせんしょ大作戦」の歩み

- 2011年度 活動開始
- 2012年度 目標：社員の健診受診率100%、精密検査受診100%、保健指導100%
- 2014年度 KOAグループ経営方針に「社員と家族の健康づくり」を追加
- 2017年度 選暦バンチ大作戦(60歳以上の社員・家族に特化した健康づくり応援)を開始
特定健診受診率 全国7位
- 2019年度 健康意識の向上と自主自発的な健康づくり活動をプラスした第2ステージ開始

「おせんしょ」とはお節介や余計なお世話を意味する南信州の方言です



キャンペーンキャラクター
おせんしょ ばあちゃん

1 安心・安全な職場環境

新型コロナウイルスによる混乱の中、社員とご家族の健康に配慮しながら対策を行っています。出張を原則禁止にした他、テレワークやITツールの積極活用を図り、社員同士が密の状態にならないような勤務を行っています。この4月には予定通り新入社員を迎え入れることができました。入社式や、その後の研修で一堂に会することができない中、各職場に配属され、仕事を始めています。

2 処遇(給与・賞与)

めまぐるしい環境変化の中で企業の成長と発展を持続するためには、社員一人ひとりの意欲と能力向上が必要不可欠です。そのために1996年に従来の年功序列重視の人事制度から能力・成果主義を中心に据えた制度への改革が始まりました。これにより、KOAの人事制度は、終身雇用は守りながら、年齢・性別などに関係なく、自ら能力を高め成果を上げた人が評価され、より高い処遇が得られる制度へと変わりました。

3 働きがい(自己実現・教育研修)

時代の大きな変化に対応した働き方改革の必要性が高まる中、社員一人ひとりがキャリアビジョンを描き、その実現に向けた取組みと仕事のステップアップを結びつけることは、働きがいを感じるために極めて重要です。全社員がキャリアビジョンを描けるようになるための「キャリアビジョン研修」、管理監督者が部下の成長を促していくための「部下支援研修」を行うなど、社員一人ひとりの自己実現のサポート体制を充実しています。

大切にしていること

伊那谷に太陽を

KOA創業者は、伊那谷で電子工業の産地化を果たし、地域における人と土地、人と風土、人と人とのつながりを保ちながらふるさとの発展を期すべく当社を創業しました。「伊那谷に太陽を」とはそのスローガンです。

KOAの歴史は、たゆまぬ改善活動の歴史であり、そのノウハウを継承する社員は、多くが地域からの雇用によります。これは創業の地のみならず国内外の拠点すべてで同様です。その恵みを資本とし継続的に雇用を生み、一方で経済的文化的な還元でも地域とのご縁を深めることは、強いものづくりを維持します。

人材育成・継続的な採用で地域に活力を

会社は社員一人ひとりの夢を実現する場でありたいと私たちは考えています。就職希望者が将来の夢をKOAで実現できるか考える機会を作り、相互理解を深めた上で入社いただく努力をしています。

KOAで働くイメージをつかんでいただくための取り組み

充実したインターンシップ・職場体験

地元の中学生から県外の大学生まで幅広くインターンシップの機会を設けています。特に大学生においては、10日間のプログラムで職場の業務を実際に体験することで、入社につながる学生も増えてきています。

会社見学バスツアー

県外出身の学生を中心に、会社の様子はもちろん、伊那谷の風土も感じていただけるイベントを毎年複数回開催しています。

▶ 2019年度実績3回開催、106人参加

大勢の若手社員によるリクルーター活動

若手社員が応募者の相談相手となり、仕事内容だけでなく、活かせる経験、やりがい、苦労、雰囲気等について詳しく説明しています。また出身大学での求人・会社説明の対応も行っています。

▶ リクルーター社員(2020年度採用活動) 理系大卒：51人、文系大卒：6人



■ 直近6年間の採用人数と定着率

	2015年-2020年計
新卒	267名
中途	40名
障がい者	6名
定着率	95%

※2020年5月1日現在

message

毎年たくさんの学生との出会いがあり、学生の皆さんもたくさんの企業との出会いがあります。その中でお互いにこの人と働きたい！この会社で働きたい！と想い合える相手を一人でも多く見つけたいと思っています。そのためにも一人ひとりの学生とのご縁を大切に、真剣に向き合いながら採用活動を進めています。

採用担当
人事教育センター
中川沙織



4

地域からの採用

地域における雇用創出はKOA創業当時からのミッションのひとつです。それには地域での優秀な人材の育成と、その人材が活躍できる魅力的な企業の両輪が必要です。伊那谷のものづくりを支える人材育成の一環として、KOAは南信工科短大の支援に加え、中高生の職場体験を積極的に受け入れています。

5

郷土愛を育む

子供たちが自分が育ったふるさとの魅力を知らないまま大人になり郷里を離れていってしまうことは、地域にとって大きな損失です。KOAは伊那谷の産学官と協同して、子供たちが地域の職業人と出会って地域における職業の話の聞いたり体験できる機会を提供するプログラム「夢大学」「キャリアフェス」など、郷土愛を育む活動に参画しています。

6

コミュニティ還元活動

KOAの事業活動は、長年にわたり地域社会から大きな恩恵を受けています。伊那谷に伝わる風習や知恵に敬意を払い、自然と共に生きるための技やしくみを大切に守って次世代に伝えていく伊那谷財団も、大切な活動のひとつです。



地球との信頼関係の構築

まあ〜るい地球の変化の中で

企業の事業活動は、幾ばくかの影響を地球に与えます。ならば、その影響を最小限にとどめ、地球の営みとの調和を図ることは、持続的な企業経営にとって必須の条件です。

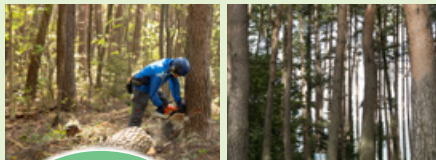
企業経営に「地球」という言葉が使われるようになったのは比較的最近のことですが、KOAは約30年前から「地球あつての人類、人あつての経営」であるとの認識のもと、社内環境リスクの低減、循環型地域社会のモデルづくり、社内外での人材育成に取り組んでいます。

森と暮らしを再びつないでいく

伊那谷はアカマツの一大産地です。高品質な松材として、昔は家の梁材として多く使われてきました。しかし、近年の暮らし方の変化や木材自給率の低下により、アカマツ林は手入れがされなくなり、さらに松枯れ病の進行によって衰退が進んでいます。地域の資源を暮らしのなかに取り入れることで、アカマツ林を守る取り組みを進めています。

暗くなったアカマツ林

森の価値は、製品、燃料、手入れが進むことによる災害防止と多岐にわたります



森からまちへ。森が暮らしを豊かにするような提案をする。

森と暮らしが循環する

様々な利用を生み出すことで、山の整備が進むしくみを構築。

アカマツに価値をつくる



pioneer plants

アカマツの家具
持ち運べる家具
「pioneer plants」



包装資材への利用
脱プラにつながる
「信州経木SHIKI」



担い手育成
KOA森林塾
森づくりの課題解決



バイオマス燃料
農業ハウス
事務所・家庭利用

voice

森の担い手育成を長年続けてきたKOA森林塾の想いと、KOA創業の精神「農工一体」を受け継いで、2016年にやまとわ(山・社・環)は誕生しました。

暮らしのスタイルは時と共に変化しますが、大自然に寄り添わずして豊かな暮らしは実現しません。森林が与えてくれる多様な生態系の恩恵を私たちらしく日々の暮らしとつなぎ直すことから、豊かで持続可能な未来を実現していきます。

そのことが、世界の森林の好循環となることを信じて。

株式会社やまとわ
代表取締役
中村博



7

社内の環境リスク低減活動

KOAが取り組んできた省エネルギー活動について、長年の功績が認められ、「令和元年度 中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰」を受賞しました。

省エネ実績、エネルギー担当者の育成、地域への情報発信や森林保全活動などの総合的な活動を評価いただきました。



8

自然環境と調和した事業経営

主力生産拠点の「匠の里」では、ギフチョウの食草ヒメカンアオイが育つ雑木林を社員が整備し、在来種のこの蝶を呼び戻す活動をしています。また、万葉集防人歌の舞台神坂峠の麓にある「七久里の杜」では、宿場をモチーフにした食堂の他、工場棟に昔ながらの採光の知恵である鋸屋根を採用し、ピオトブを設け、土地の気候を活かした省エネ対策も施しています。KOAではこうして事業所と自然や風土との調和を大切にしています。

9

循環型地域社会のモデルづくり

KOAの事業所はそれぞれの所在地の特性を活かして地球との調和を目指します。伊那谷においては、天竜川水系を舞台に地域の皆様と力を合わせて、循環型社会のモデルづくりに取り組んでいます。

1999年に始まったINAコピー用紙循環システムでは、地域の企業・団体と協同してオフィス古紙の回収・再生に取り組み、これまでに再生したコピー用紙298トン、積み上げると富士山の2倍の高さに達します。

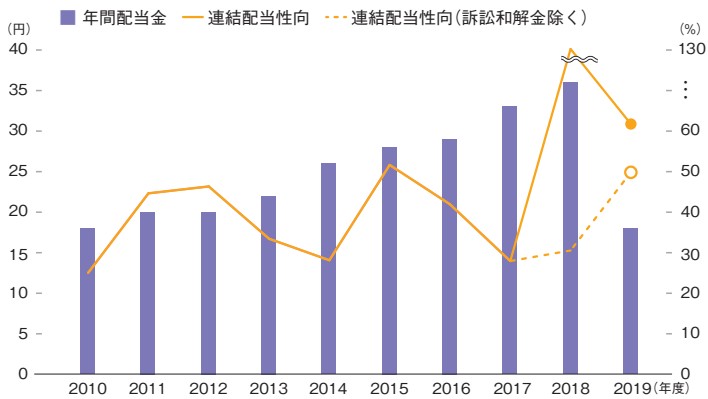


大切にしていること

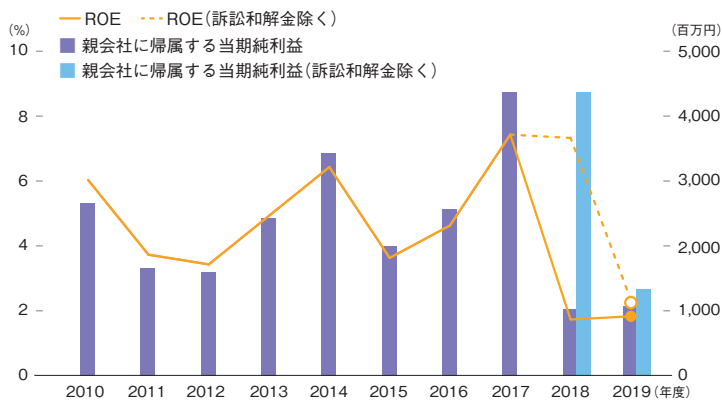
株主である投資家の皆様にもまずお約束すべきは、事業活動による収益を継続的に還元することです。KOAは、ROE8%を目指す中期経営計画の実現を目標に置いて、将来に向けた投資を積極的に行い、利益率を長期持続的に高めてまいります。

また、収益以外の面でも将来性について継続的に期待でき、末永く応援していただける会社であるために、正しい倫理観に基づいた経営を行うとともに、あらゆるステークホルダーとの間に信頼関係を築き、果たすべき責任を果たしていきます。

配当金および配当性向の推移



ROEおよび親会社に帰属する当期純利益の推移



社外取締役の視点

3年前に社外取締役に就任し、国内の各製造工場や営業所、技術開発部門、物流センターを順次訪問した際、常にお客様視点で誠実に仕事に取り組むとともに周りの社員や地域社会への気遣いを忘れない現場の社員の姿勢が印象的でした。

KOAは「5つの主体」との信頼関係を大切にしていますが、取締役会での議論でも、顧客の利益や株主価値の最大化だけでなく、それらを実現する社員の働きがいと家族の支え、地域社会と地球環境保全に配慮しながら、最適解を求めています。高価な額縁に収められた社訓ではなく、社員一人ひとりの胸の中で生きている信念、それが「5つの主体」への約束です。創業以来80年間、幾度とあった厳しい経営環境を生き延び、世界的なシェアを持つ技術企業へと成長できたのは、骨太なミッションを全社員が共有していたからだと思います。



取締役
北川 徹

大切にしていること

10 配当性向

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと考えており、今後の事業展開への対応を図るための必要な内部留保を確保しながら、安定的かつ継続的な株主還元を努めることを基本方針としています。配当につきましても、安定的かつ継続的に実施してまいります。なお、配当性向は30%前後を意識しつつ、その上で、株価水準や資金の状況等を総合的に勘案し、必要に応じて機動的に自己株式の取得等を行ってまいります。

11 株価

固定抵抗器のリーディング・カンパニーとしてこれまで培ってきた技術力と新たな市場を切り開く開発力、そしてさまざまな社会的価値創造の活動に対する多面的な評価が、株価に適正に反映されるよう努めていきます。2019年には株主懇談会を開催しました。各役員からの報告会とKOAの活動を展示した会場で交流会を行い、参加した皆さまに役員との対話を深めていただきました。

12 ROE

ROE8%を目指す中期経営計画を策定し、品質・信頼性を重視する市場を中心に高付加価値製品を提供し継続的に競争力を高めるとともに、イノベーションの動向を予測し、そこで必要とされる技術や製品開発に経営資源を投入し、お客様と共に新たな価値を創造する活動を進めています。

ROE：自己資本利益率
ROE(%)=当期純利益÷自己資本×100

厚みと差異のある価値の提供

利益率を長期継続的に高めるためには、競争力を高めること、すなわち付加価値を高めることが求められます。KOAは、その製品、サービス、提案力等について、他には真似できない厚みや深みのある価値を提供します。

KOA製品は、車載ビジネス、センサ用途などで特に強みを発揮しており、今後も当社の主力である固定抵抗器市場は活発な動きが予想されます。今後は、お客様と共に次のマーケットを「共創できる研究開発型企業へ」と進化してまいります。

お客様と共に安心・安全な未来を創る

自動車の自動運転化、各種支援ロボットの開発、情報化社会の進展などによって、私たちがより安心・安全に暮らせる社会の実現が近づいています。これらに欠かせない電子部品の小型化と電子回路の高密度化に伴い、加速度的に増加する熱ストレスへの対策の重要性が高まってきました。

KOAは、長年蓄積してきた測定、評価、シミュレーション技術を自社製品の設計に活用するだけでなく、回路設計技術者に向けて技術セミナーの開催や設計支援ツールを提供することで、安心・安全な未来の実現に取り組んでいます。



voice

2007年に株式会社サーマルデザインラボを立ち上げ、電機・自動車メーカーなどへの熱対策コンサルティングを始めました。これらのメーカーでは、小型化された電子部品の熱問題への認識が十分ではなく、設計手法を根本から変えていく必要を感じていました。

そのような中、志を同じくするKOAと出会い、8年前から共に技術開発、啓蒙活動を進めてきています。最近はこの活動の浸透を肌で感じますし、業界団体を通じた工業規格化の検討も始まりました。今後の電子部品業界においては、こうした強い技術探求心や、高い技術力、変革意識、業界リーダーシップマインドを備えたメーカーが大きな価値を生み出していくと確信しています。

KOA株式会社技術顧問
株式会社サーマルデザインラボ
代表取締役 **国峯尚樹氏**



13

QCD (品質・コスト・納期)

KOAでは「一箇一個が私の保証です」を合言葉に、お客様にご満足いただくための改善活動を、製品、サービスのみならず、あらゆる業務のQCDにおいて全員参加で推進しています。

一箇とは、一つ一つのプロセス(個々の仕事の集合したもの)、一つ一つの仕事、一つ一つの設備、一つ一つの動作を表します。又、一個とは、一つ一つの製品を表しています。この“一箇一個”という字は、お客様に満足してもらうための、全ての一つ一つを数える意味を込めて用いています。

14

提案力(技術・新製品)

お客様にとって価値ある企業であり続けるため、KOAがその歴史の中で培ってきた設計技術、材料技術、加工技術、分析・評価技術といったさまざまな基盤技術を深掘りして連携させ、先端研究機関やパートナー企業様とのオープンイノベーションによって、お客様とともに創り出す新たな価値へとつなげていきます。

15

事業継続リスク対応

新型コロナウイルスのパンデミックに対し、当社の緊急事態対応計画に基づき、対策本部を立上げ、グループ一丸となって事業継続を図っています。

刻々と変わる状況に対応しながら、イベント中止、お客様への訪問や来客時の対面による打合せの制限など、直接の接触機会を避けながらも業務に滞りがないようにしています。

また、事業所間では社員の移動を制限するなど、万が一の際に操業停止の影響を最小限にする対策を実施しています。

(2020年5月時点)

大切にしていること

本書でご紹介した取組内容の他にも、さまざまな情報をホームページに掲載しています。
ぜひご覧ください。

<https://www.koaglobal.com/ir/surveyinfo>



企業価値についての動画

5つの主体との信頼関係の構築というミッションはどのようにして生まれたかお伝えするプロローグ篇や5つの主体に関する皆様のインタビュー、2019年に開催した株主懇談会での役員プレゼンテーションを通じて、様々な角度からKOAの企業価値についてご覧いただける動画を掲載しています。



株主懇談会2019
役員プレゼンテーション



『さわかみ投信様から見た
KOA』



『電波新聞様から見た
KOA』



『社員が安心して働ける
職場とは』



『おらが村に興亜が来た』



『ふるさとの森とともに』



技術者お役立ち情報 設計支援ツール

お客様の回路設計を支援するツールや使用時の注意事項、セミナー情報など、KOAの技術をお伝えする情報を拡充しています。



- 1 **設計支援データ** 回路設計に必要な3Dモデル、各種製品特性データをご案内します。
- 2 **テクニカルノート** 抵抗器の使用時の注意事項や特性を解説した資料のご案内です。
- 3 **Simcenter FloTHERM データ** 熱流体シミュレーターSimcenter FloTHERMで使用できるKOA製抵抗器のシミュレーションモデルです。



『KOAらしき報告書』 詳細版

本書だけでは紹介しきれないKOAの多岐にわたる活動をテーマごとに紹介する詳細版を公開しています。

